

from

令和8年1月発行

ほうかつ

ならは農福フェスティバル

ならコレ2025

～ならはコミュニティコレクション～
もうすぐ免除終了『通常に戻ります！』



11月15日(土)ならは農福フェス2025の中で、第11回ならはコミュニティコレクション(ならコレ)が開催されました。ならコレは、子どもから高齢者まで、認知症や障がいの有無にかかわらず、誰もが地域で生き生きと暮らしていく“檜葉ならでは”の地域づくりについて考えることを目的としているシンポジウムのことです。11回目を迎え、歴史あるイベントになってきました。

今回のシンポジウムでは、震災後から続いていた特例減免措置(医療・介護サービス利用時の自己負担免除)が令和8年3月で終了することを踏まえ、「免除終了は通常に戻ること」を寸劇を通してあらためて住民の皆さんと一緒に確認し、日常の中の地域づくりについて考えるテーマでした。

寸劇内容

1幕 とある檜葉町の病院の待合室の場面

- ① **そろそろ原発の免除が終わりになるんじゃないの?**
ともみばあちゃん
- ② **んだよ! 今年の4月からは病院に掛かったらお金とられっからね!**
さとこばあちゃん
- ③ **おれは、内科と整形外科と眼科も行ってんだ。薬代もいいあんばいとられっどな。**
のぶひこじいちゃん
- ④ **医療費と薬代といくらぐらい掛かるんだが窓口で聞いてみるかな?**
さとこばあちゃん

大好評!
役場・社協職員による寸劇



ポイント
・病院の待合室は、大切な情報共有の場
・不要な薬、通院の見直し
・通院時の自己負担額を確認してみる(自分は何割負担等)

2幕 デイサービスセンター利用中の場面

- ① **そろそろ免除が終わるんだって。サービスも使った分だけ自己負担が発生するんだと!**
のりこばあちゃん
- ② **そうなんです。今年の4月からはやまゆり荘の利用料も引き落としされるのでよろしくお願ひしますね。**
ふじこ看護師
- ③ **手すりや車いすも借りてるし、月1万3千円くらいだって。免除期間が長かったから、なんだか負担に感じるな**
のぶひこじいちゃん
- ④ **サービス増やすってことは、支払う額も増えるってことだもんな。今後のことも考えてケアマネさんに相談しなきゃな!**
さとこばあちゃん



ポイント
・デイサービスも、大切な情報共有の場
・サービス内容、自己負担額を確認してみる(ケアマネジャーや家族間で共有)

免除終了!! 通常に戻るといことは...

【寸劇】さとこばあちゃん83歳の場合



医療費

- ・内科...290円
- ・眼科...900円
- ・薬代...600円



例 1割負担の場合

合計 約2,000円の自己負担となります。

【寸劇】のぶひこじいちゃん87歳の場合



医療費

- ・内科...290円
 - ・整形外科...630円
 - ・薬代...600円
 - ・歯医者...1,300円
- 合計 約3,000円



介護サービス費

- ・デイサービス(通所介護) ...月8回利用/月:5,000円
 - ・ショートステイ(週末に宿泊)...5日間利用/月:4,000円
 - ・福祉用具レンタル...車いす代:600円、手すり:500円
- 合計 約10,000円

医療費と介護サービス費を合わせて約13,000円の自己負担となります。

檜葉町では、町民の方が健康で生きがいをもち、安心して暮らせるまちを目指すため、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組み「檜葉町地域包括ケアシステム」の活性化を進めています。免除終了を迎えるにあたり、もしかすると経済的な問題を抱えてしまう方もいるかもしれません。私たち檜葉町地域包括支援センターでは、普段から「生活困窮」や「生活保護」に関する内容についても各関係機関と連携し、チームで相談対応を行っています。

経済的な不安がある際には、ぜひご相談ください。将来、介護が必要になった時に安心して必要なサービスを受けられるように、現在の経済状態を確認し、滞納、借金、負債額が深刻化する前にまずは相談してみましょう。

今年3月末の免除終了に備えて、医療費や介護サービス料金がどれくらい掛かるかを各家庭で確認し、心の準備をしておきましょう!

高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp



お気軽にご相談ください。



地域づくりの今!

キラッと輝く スーパーシニアをご紹介します!



秋の終わりを感し始めた11月末、木戸川の築場に足を運ぶと、大きな重機を操作しながら築場の解体作業を行っている現場に遭遇しました。重機を操作していたのは、木戸川漁業協同組合理事をされている渡邊忠男さんです。理事自ら重機を操作し、河川の修繕作業をしていました。今回は“キラッと輝くスーパーシニア渡邊忠男さん”をご紹介します。

～お話を伺いました!!～

Q: 木戸川漁業協同組合との出会いは何ですか?

A: まだ仕事をしている頃、前組合長から「休みの時でいいから手伝ってほしい。」と声を掛けられたのがきっかけで漁業組合で活動するようになったんだ。重機の操作ができたから、昔から河川の整備も行ってきた。今では理事となり6期目を迎え、18年間務めているんだよ。

Q: 長年勤められているのはなぜですか?

A: 18年…今思えば長いな～。今も続けられているのは『魚が好きだから。』だな!

Q: 鮭の「合わせ網漁」を今も行っているのですか?

A: 今も網引きはやっているけど、一人でやっているわけではないよ。皆の力が一つになってやる作業だからこそ、今もやり続けていられるんだと思う。昔はひと網で1,300本もあがったことがある。観光バスもたくさん来て、活気のあるサケ漁だったんだよ。

30年前の木戸川での鮭漁の様子 (忠男さんより提供)



健康な体づくりのため、塩分控えめの食事を工夫しています。これからも、元気に漁協と趣味の三味線を続けてほしいと思っています。

奥様からのコメント

今回お話を伺い、身近にある木戸川が人と人との繋がりをつくり、生きがいをもたらす力を持っていることや檜葉町を元気づける希望なんだと知ることができました。これらの学びはこれからのより良い地域づくりに活かしていきたいと思っています。



今回ご紹介するお二人は、木戸川漁業協同組合で知り合い、26年来のお付き合いになるそうです。震災前の活気あふれる木戸川を知っているお二人は、共に木戸川の復活に向け、悲しみや喜びを分かち合い、家族のように支え合いながら活動されています。



—渡邊忠男さん—

「謙太郎は漁協に就職してから頑張ったな。よくやってくれている。」



—鈴木謙太郎さん—

「忠男さんは漁協にとって、なくてはならない存在なんです。」

忠男さんの もう一つの顔を発見!

30代は民謡の伴奏者として尺八を始め、40代になると三味線に取り組み、「今でも続けている。」とのことでした。川で身体を動かしながら、自宅では三味線の音に心を癒され、「これが今の生きがいだ。」と優しい笑顔を見せて下さいました。



檜葉町地域包括ケアシステム まじわる つながる 支え合う リレー

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。一般社団法人檜葉町振興公社から木戸川漁業協同組合にバトンが繋がりました。

第18走者



木戸川漁業協同組合

木戸川漁業協同組合 猪狩裕恵さん・鈴木謙太郎さん

木戸川漁業協同組合は組合員で構成されており、現在171名の組合員が所属しています。主な役割と事業内容は…
○漁業権の管理や、放流、産卵場の整備。
○河川環境美化や水質保全活動など持続可能な漁業と漁場の環境保全。
○組合員の漁獲物等の加工・販売などの事業。

木戸川漁業協同組合は、震災で活動を中断していましたが2015年に本格再開されました。檜葉町にある木戸川は、阿武隈高地を水源として太平洋に注ぐ鮭が遡上する日本有数の川で、木戸川の鮭や鮎の回復に向けての活動を日々取り組んでいます。

～地域とのつながり～

○檜葉町の園児、小中学生が参加し、鮭の稚魚を放流。魚と触れ合うことで命の大切さを身近に感じたり、魚にとって優しい川の環境づくりなど、学校教育に取り組んでいます。

○令和5年から「木戸川鮎まつり」を開催。鮎の“つかみ取り”や小中学生を対象に“鮎のエサ釣り大会”“檜葉町の特産物の販売”など子供からお年寄りまで一緒に楽しめるイベントとなり、今年は1,800人の集客がありました。毎年、来客者が増え地域住民だけでなく、町外から来られる方との交流の場にもなっています。

～これからの展望～

～鈴木さん談～

「私は、地域の方々に育てられました。年を重ねた今でもふらっと立寄ってくださり、交流が絶えません。先代から学んだことを次世代へ繋ぐための教育活動に取り組むと共に、鮎がスクスク育ち、鮭が安心して遡上できるための川づくりに励んでいきたいと思っています。また、子どもからお年寄りまで楽しむことができるような“木戸川がテーマパーク”のような存在になることを願っています。」

～みんなのつなぐやき～

2026年あなたは初詣で何を願いますか??



センター長 江尻 「世界平和&臨時収入」



生活支援コーディネーター 小林 「よく食べよく寝てよく動ける一年に!!」



社会福祉士 岡崎 「無病息災・業務向上」



看護師 馬上 「私の健康・家族の健康」

今年もどうぞよろしくお願いたします。～檜葉町地域包括支援センター～